

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 一般重要案件(3)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43795

沖繩關係事務体制強化

秘

57011
57012

北米局長

参事

北米課長

沖繩関係事務体制の強化について

昭和40.6.25

北米課

協議委員会が機能拡大にもかんがみ
沖繩関係事項について今後米側と

折衝は、予予予類ぱんにちるべきと懸念され、
同時に沖繩の各分野に關する調査研

究を十分行わねばならぬことが必要とされてい
る。

さらに施政権返還問題が国内政治問題と
して打打突鋭化してきて懸念され、また、

本邦沖繩問題は、日米関係上最大の政治的
懸案であることにかんがみ、外務省といたし、沖繩

問題の最終的解決の方策を~~決定~~施政権

GA-6

外務省

3148

返還問題を真鍮に検討して行くことが
必要とされている。

そのため、沖繩関係事務体制を、つぎのと
おり強化するに決した。

1. 本省

今回の予算要求にあたり、沖繩問題担当
の調査官1名の新設を要求し、実現した。
(ただし、これは、事実上既設の調査官を定員化に等しい)
北米課

また、かねてから欠員となっていた沖繩関
係事務補佐者2名を早急に獲得する
こととした。

必要がある。(場合によっては、二名を特選局
より出向者により増やすことも考えられる)

2. 南方連絡事務所

特選局の出先機関である南方連絡事
務所は、もともとその所掌事務が限られて

いた関係もあり、渡航、連絡、接見、および
援助関係の業務を、~~その~~さかぬに事務的に

GA-6

外務省

大きなギャップがある。

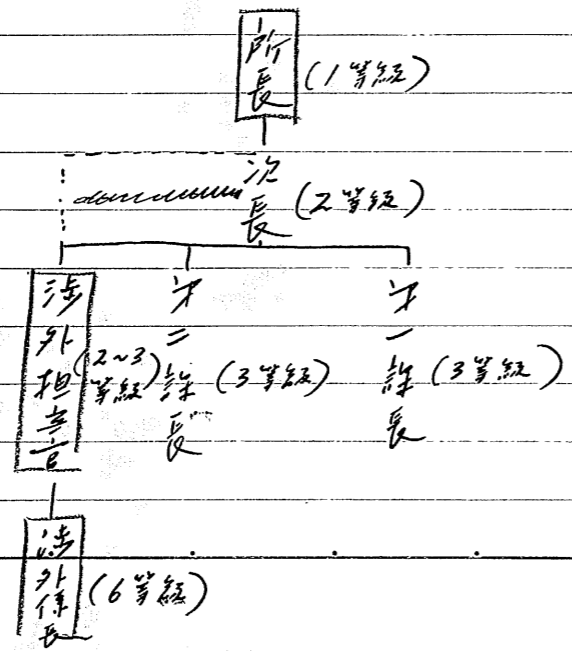
このギャップを埋め、現地施政当局との交渉

外能力を強化し、現地を政治経済情勢を、外交的センスをもとに把握し、より報いんかつ

高層の報告を送るようになるため、本省の(課長ある)首席事務官クラス1名を南連事務

所^{次長格}の課長格で出向せしめることとした。

この場合南連事務所の組織は、つぎのとおりである。



GA-6

外務省

さらに南連^{云わば}の外交的機能の強化のためには、同事務所と東京との間^{と東京との連絡の迅速化}に暗号電報を

含む電信連絡の道を開くこと^が検討^がされると思われる。

GA-6

外務省